

日時：令和3年10月29日 7:00～8:00

会場：各施設（Web Meeting；Zoom 使用）

参加者（25名）；今釜史郎委員長 安藤圭 岩崎博 後迫宏紀 川端茂徳 寒竹司 小林和克 重松英樹 高橋雅人 田所伸朗 谷口慎一郎 橋本淳 藤原靖 船場真裕 町野正明 森戸伸治 安田明正 山田圭 山本直也 吉田剛 和田簡一郎 各委員（敬称略）

黒須健太 各オブザーバー（敬称略）

安藤宗治 高谷恒範 松山幸弘 各アドバイザー（敬称略）

■議題1：モニタリング認定医について

- ・2021年度モニタリング認定医 申請期間6/1～6/30 申請者75名
- ・WG委員2名1組のペアとなり審査 → 承認72名、保留（未承認）3名
- ・保留者に修正・再提出を依頼し再審査した結果、3名承認となり、最終的に75名全員合格
- ・教育研修委員会へ報告し、理事会にて承認
- ・認定料を収集、認定証作成し10/1発送
- ・秋の各施設での脊髄モニタリング・ハンズオンセミナーはコロナ禍により中止

■議題2：脊椎脊髄病研修コースについて

- ・浜松医大（吉田）

令和4年度（春）JSSR脊椎脊髄病研修コースIVについて、2022年4月23日（土）開催予定、講師は脊髄モニタリング総論を川端先生、運動系・感覚系モニタリング各論を高橋先生、手術毎のモニタリングとアラームポイント、合併症対策を吉田先生が担当予定、今後テスト内容の選定を行う

■議題3：研究進捗

下記研究進捗があった。

- ・杏林大（高橋）

策定したアラームポイントの妥当性 1934例の前向き多施設研究→Spine誌に掲載

ワーキンググループが策定したアラームポイントの妥当性 3625例多施設共同前向き研究
→JSR誌投稿準備中

脊髄モニタリング False negative の検討 多機関共同研究 5272例の解析→学会発表予定

- ・浜松医大（後迫）

外傷脊椎手術に対する経頭蓋電気刺激筋誘発電位の有用性の検討→学会発表予定

- ・奈良医大（重松）

脊髄モニタリングに関するアンケート調査

→倫理委員会承認、2021年9月から1か月間、JSSR評議員が対象→学会発表予定

- ・山口大（船場）

頚椎手術における高度筋力低下症例はMEPの有用性が高い→学会発表予定

- ・東京医科歯科大（橋本）

頚椎OPLL前方手術のFree-run検討→学会発表予定

- ・浜松医大（吉田）

成人脊柱変形手術に対する術中脊髄モニタリング→投稿準備中

術後麻痺が脊髄障害によるものか神経根障害によるものかを検討→学会発表予定

■その他：

- ・ 関西医大（安藤）

日本臨床神経生理学会でモニタリングガイドラインを作成中

臨床検査科、脳外科、麻酔科、整形外科各科代表者の意見を取り入れ新たに誘発電位の呼称や略語を統一化

- ・ 名古屋大（町野）

各施設における使用モダリティ把握、モニタリング機器名の確認について

- ・ 名古屋大（町野）

第 43 回日本脊髄機能診断学会学術集会 2022 年 2 月 5 日（土）枚方市総合文化芸術センターにて開催

- ・ 次回開催予定日：2022 年 2 月 4 日（金）7 時 Web Meeting で開催（脊椎脊髄病研修コース、研究進捗）